

独立行政法人国立病院機構

松江病院
 呼吸器病センター
 〒690-8556
 松江市上乃木5丁目8-31
 TEL (0852) 21-6131 FAX (0852) 27-1019
 URL <http://www.hosp.go.jp/~matsue/>
 発行責任者
 院長 徳島 武
 編集者
 事務部長 山崎 寛



大東・七夕まつり
 戦国時代から400年以上続くとされる夏恒例の七夕まつり。スイカ提灯（ちょうちん）や鮮やかな七夕飾りの山車を伴った子ども行列が「てんてこてんの七夕さん」という掛け声とともに練り歩く。（当院から車で30分）

まぐじ

2年目の呼吸器市民公開講演会「肺がんフォーラム」開催…2	アジアを代表する巨大都市「上海」の医療・経済事情の一端……………12
パーキンソン病「ジェームズ・パーキンソン先生の生家について」……3	祝！「石見銀山世界遺産登録」……………12
人工呼吸器に関するヒヤリハット事例、再現学習会……………3	平成19年度「睦会（在宅酸素療法患者会）」総会に参加して ……13
治験コーディネーター（CRC）の業務及び当院における治験の状況について ……4	経費節減方策の実施～フィルム貼りによる熱効率アップを企画～ ……13
しじみ会五月鯉のぼり号 ………………4	鳥取県とブルガリアの経済・文化交流会の旅 ………………14
「ふれあいの日」の行事～重心病棟～……………5	オーストラリアへ行ってきましたヨ ………………15
看護助手・療養介助職研修……………6～7	病院にテレビドラマがやって来た!? ………………16
呼吸器の細胞診について……………8	栄養管理室からのお知らせ「ふれあいの日」の行事の特別メニューです!! ……17
BGMの導入～患者サービス向上に、非常用放送設備を活用して～ ……9	「震度7!」「恐怖の地震体験!」～親子遠足を終えて～ ……17
ボランティア活動報告（その①）……………9	永年勤続表彰……………18
「看護の心をみんなの心に」……………10	新人医師紹介……………18
ボランティア活動報告（その②）……………10	人事異動……………18
名誉院長・新院長の就任祝賀会が開催される！……………11	松江病院の元気宣言……………19
春の防火避難訓練（夜間想定）の実施……………11	外来診療表……………20

 **残暑お見舞申し上げます。（職員一同）**

2年目の呼吸器市民公開講演会『肺がんフォーラム』開催

外科医師 目次 ひろゆき



会場内の模様

肺がんは今や日本人の癌死第1位となっています。この肺がんについて、広く一般の方々に知っていただくため、当院では昨年から「呼吸器市民公開講演会 肺がんフォーラム ～小さいがんを見つけよう～」を実施しています。第2回である今年は、去る6月30日に島根県松江市内にある「くにびきメッセ国際会議場」で行いました。

当日は幸い天候にも恵まれ、約300人ものの方々にお越しいただきました。

まず徳島 武院長による開会の挨拶の後、呼吸器科の池田医師が「肺がんの診断について」というテーマで、現在行われている肺がんの診断方法やその成績、問題点、今後の課題などについて話しました。

次いで呼吸器科の徳田医師が「肺がんの薬物療法、放射線療法」とのテーマで、肺がんの進行度やタイプに応じた抗癌剤治療、放射線治療の内容、成績といった内容を講演しました。

さらに続いて、患者様のご家族 伊藤 和雄氏にお話「100歳まで、長生きしたい！」をいただきました。この患者様は昨年当院で手術を受けられた方で、手術当時の年齢は95才でした。文献的に見ても、肺がんて手術を受けられた患者様としては日本最高齢と思われる。遠方にお住まいのため、当日は残念ながらご本人にお話をうかがうことはできませんでしたが、現在もお元気でデイサービスなどに通っておられるとのことでした。

最後に、「高齢者にも優しい肺がん手術」とのテーマで、肺がんの進行度に応じた手術療法、特に最近盛んに行われている胸腔鏡手術について、私が講演させ

ていただきました。

当院では1992年に山陰で初めて胸腔鏡手術を導入し、現在までに1400例余りを手がけています。肺がんに対しても1994年から導入し、開胸手術と遜色のない手術成績をあげています。胸腔鏡による手術は傷も小さく、体の負担も軽いため回復が早いという利点がありますが、テレビモニターを通しての手術は術者に熟練を要求する難しい手術でもあります。

当院では現在大半の肺がん手術を胸腔鏡で行っており、昨年は約70例の肺がん手術のうち50例が胸腔鏡手術でした。今後さらに胸腔鏡手術に力を入れていく予定です。

ただし、胸腔鏡手術も万能ではなく、早期癌でリンパ節転移がないことや、胸膜炎などで肺と胸壁が癒着して（くっついて）いないことといった制限もあります。その場合開胸手術となりますが、それでも以前のような背中から脇腹近くまでの大きな切開ではなく、ほとんどは側胸部の比較的小さな切開で手術を行えるようになっています。

講演の後には、肺がんについて日頃気になっていることなど、各専門医による無料肺がん相談会を個人面談形式で行いました。こちらも多くの方々に参加いただき、盛況のうちに会は終了しました。当院では今後もこのフォーラムを引き続き行っていく予定です。

肺がん、中でも進行した肺がんは、治療法の発達した現在においても、他のがんと比較すると治療成績の良くないがんです。そのため、早期発見、早期治療が何より重要ですが、早期にはほとんど症状がないため、検診でしか発見できません。



院長開会挨拶



受付の面々

皆さんも、是非「肺がん検診」を受けましょう！

【院内標榜臨床研究部】

パーキンソン病 『ジェームズ・パーキンソン先生の生家について』

神経内科医長（院内標榜臨床研究部長） ^あ ^{だち} ^{よし} ^き
足立芳樹

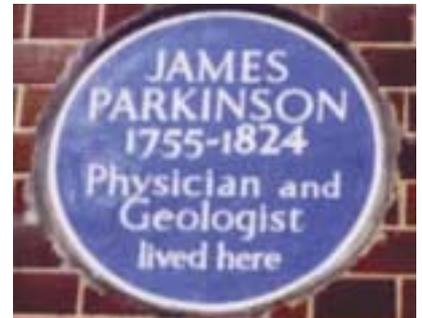
パーキンソン病は、主に50歳から70歳代で発症し、手が震えたり、前かがみで小刻みな歩き方になる病気です。ドーパミンという物質をつくる神経細胞の数が徐々に少なくなると、脳内のドーパミンが少なくなるのが原因です。



ジェームズ・パーキンソン先生の生家

1800年頃、英国ロンドンの開業医で地質学者でもあるジェームズ・パーキンソン先生が初めて報告したので、この医師の名前をとってパーキンソン病と呼ばれるようになりました。私は、1997年と1999年にロンドン大学神経研究所に留学したのですが、研究所から地下鉄で20分くらいのところにパーキンソンの生家があり、何度か見に行きました。英国では、有名人ゆかりの建物にブルー・ブランクという30cm位の青い円板状の板がつけられています。今では、開業していた建物は取り壊され、レンガ作りのパブ（酒場）になっています。名前は

Bluu（ブルー）。私も、このパブでジェームズ・パーキンソン先生のことを想いながら、黒ビールを飲みました。パーキンソン先生の時代から約200年、治療法が全くなかった神経難病パーキンソン病も、現在は治療薬が開発され、発症から10年以上たっても自分で歩ける人が多くなりました。また、パーキンソン病に関連した遺伝子もいくつか見つかってきました。ただ、ドーパミン神経細胞が少なくなるのを抑える根本的な治療はまだ実用化されていません。パブになってしまった建物の近くに教会があり、パーキンソン先生のお墓があります。パーキンソン先生が、生家を見にくる世界中の神経学者に、根本的な治療法を開発するよう願うまなざしを今でもおこなっているように思えます。



ブルー・ブランク

【医療安全管理室からの報告】

「人工呼吸器に関するヒヤリハット事例、再現学習会」

医療安全管理室 医療安全管理係長 ^く ^{しろ} ^{れい} ^こ
久代玲子

当院では、約60名の患者が人工呼吸器を装着しており、平成18年度には人工呼吸器に関するヒヤリハット事例は2件ありました。これは提出総数の13%に当たります。

そこで、人工呼吸器に関する学習会を主体的に進めていくために、ヒヤリハット事例をもとに、「どんな事が発生したのか、なぜ、そうなったのか等」について、事例を提出した病棟が担当して、自分たちが体験・学習したことを説明し全体討議を加えて事例共有し、事故防止に取り組むための「ヒヤリハット事例、再現学習会」を開催しています。笠置臨床工学技士の協力を得ながら平成19年2月から実施し、5/17（木）に第3回目を行いました。「バイパップシンクロニーのボタン操作ミス、確認方法の知識不足に伴う事例の説明」に合わせて、業者による機種の説明会を行いました。36名の参加者があり学習会が終了しても熱心に業

者の方に質問している人もありました。病棟により定期チェック時の確認方法が不統一であったこともわかり手順を整理することになりました。ヒヤリハット事例を活用しながら一つずつ皆で地道に改善していくことで事故防止に繋がりたいと考えています。



笠置臨床工学技士による説明

『ふれあいの日』の行事～重心病棟～

児童指導員 小野道子

6月3日(日)、家族会主催による「ふれあいの日」の行事が開催されました。

朝から良く晴れ、気持ちの良い風が吹き抜ける、過ごしやすい一日となりました。

今年は6月開催ということで、「6月です！ジュンブライドです！フィーリングカップルから結婚へ～」をテーマに、各病棟から選ばれた10人の男女が、親族とともに素敵な結婚相手を見つけ、永遠の愛を誓う、という内容で行われました。

午前は愛を深めるゲーム大会、午後は「新婚旅行でハワイに飛び立つ」という設定で、ボランティアによるフラダンスを楽しみました。

まず初めは、永遠の愛をつかみたい男女の入場です。親族も見守る中、ちょっぴり気合いの入った衣装で登場されました。みなさん、好みの人がいるかどうか、相手の顔をしっかり見ておられました。趣味や年齢など自己紹介もして、相手へのアピールもバッチリです。

するとここで松江病院支部教会の牧師さんに扮した、細田家族会会長が登場！聖書らしき物もきちんと持っておられ、まさに牧師さん！といった感じです。

「今日は素敵な相手を見つけて帰って下さいね。」と挨拶をされました。

そしてお待ちかね、愛を深めるゲーム大会が始まりました。まずは運命の人を見つけ出す、『フィーリングカップルゲーム』です。これは、「男女それぞれ5本の赤い糸の中から一本だけを引っ張り、その運命の赤い糸が繋がった者同士がカップルとなる」というものです。親族も固唾をのんで大注目です！そして「せーの！」で引っ張ると、見事、5組のカップルが誕生しました。年の差カップルや中年カップル、様々なカップルの誕生に、暖かい拍手が沸き起こりました。

つづいて、『以心伝心ゲーム』です。これは、カップル同士で、同じ答えが出るかどうか、つまり、心が通じ合っているかどうかを競うゲームです。中でも一番盛り上がったのが、「新郎新婦が結婚式で永遠の愛を誓って交わすものとはなんでしょう？」という問題です。

5組中4組が全員「指輪」と答えたのに対し、1組だけ違う答えでした！そのカップル、まずは新郎側の答えをみると、そこには「チュー」と書かれていました。さあ、新婦は何と答えたのでしょうか。

見ると、なんと新婦側も「チュー」と答えていたのです

みなさん相手のことをよくわかっていらっしやいましたネ

そしてついに結婚です！やっとこの時が来ました。2人はめでたく結婚することとなり、新郎から新婦へティアラ(冠)のプレゼントがありました。会場中が新郎新婦を祝福しました。

最後は、披露宴にてご祝儀対決です。80人の著名人より御祝いを頂いていました。それを親族で奪い合い、合計金額を競うゲームです。病院長や看護師長、指導室長、さらには大物の小幸さんや美憲×さんからの御祝いもありましたね。

金額は1万円から500万円まであり、皆さん必死で取り合っておられました。

(もちろんみんなおもちゃですよ)

表彰式では、すべてのカップルに「愛の炎がメラメラ燃えているで賞」や「愛をもっと深めま賞」などの賞が贈られました。

午後は、親族も引き連れ、ハワイに新婚旅行です。そこで出迎えてくれたのがフラダンスチーム「古志原レイフラワー」の方々です。

赤や緑の素敵なドレス。頭には、ハイビスカスの花飾りをつけて、とても華やかでした。ゆったりとした音楽に流れるような振り付けがとっても心地よく、まさに南国にいる気分でした。最後の曲「瀬戸の花嫁」では、一つ一つ振り付けを教えてください、会場が一体となって一緒に踊りました。患者さんもジーッと踊りを見つめていらっしやいました。新しい経験ができ、素敵な時間を過ごすことが出来ました。

終わりは、現地の人に扮した曾田家族会副会長が、とても良くお似合いのアロハシャツを身にまとして登場され、「新婚旅行はいかがでしたか？未永くお幸せに。」と挨拶をされました。

その後病棟では、体育館で参加できなかった患者さんのもとで、古志原レイフラワーの方がフラダンスを披露してください

ました。音楽が流れ始めると病棟は一気にハワイの雰囲気になり、ゆったりと時間が流れていくようでした。



古志原レイフラワーによるフラダンス

看護助手・療養介助職研修 ～ 病院経営と今年度の方針について ～

副看護部長 **近藤 紀子**

平成19年度の看護助手・療養介助職研修を5月23日に山崎事務部長を講師に「病院経営と今年度の方針について」というテーマで実施され、受講職員から感想が寄せられましたので、何名かをピックアップして紹介します。



看護助手・療養介助職研修に参加して

看護助手 (第6病棟) **りょう み しず こ**

今回の研修は「病院経営と今年度の方針について」でしたが、今回初めて具体的に当院の経営状況を知ることができ、今まで以上に意識を持って経営に参画しなければならなかったと感じました。

自分に何が出来るかを考えたとき、まず、研修資料の具体例にもありました経費節減のため、節電、節水、消耗品の節減を常に心がけていきたいと思えます。

また、組織の一員としての自覚と責任を持ち、職場でのコミュニケーションをとり、看護師長さん、副看護師長さん、看護師さんの指導のもとに業務を行い、看護助手としての役割を果たしていきたいと思えました。

患者さんには、どの患者さんにも公平に、誠意を持って常に笑顔でやさしく接し、また、安全に気を配り、患者さんが気持ち良く生活できるような環境作りを心がけたいと思えます。そして、患者さんから信頼され、選んで頂けるような病院の一員になれるよう、自分なりに日々努力していきたいと思えました。



看護助手・療養介助職研修について

看護助手 (第10病棟) **しん さと のぶ こ**

私は、今回初めて病院の研修というものに参加させていただきました。聴覚障害の私に手話通訳を許可して下さった病院側のご配慮に感謝すると共に厚くお礼申し上げます。

「病院経営と今後の方針について」 難しいことは分かりませんが、私たちに出来ることと言えば、経費節減のための努力 - 例えば、トイレ・リネン室など、電気の消し忘れ、洗い場、浴室の水漏れに注意等身近な所から努力したいと思います。

「職業人としての心構え」について、研修資料を読んで当院内の事だけでなく、一社会人として大変勉強になりました。仕事を行ううえで重要なのはチームワークであると思っています。特に医療現場において自分の勝手な判断で行動していたら大変なことになると思います。どんな小さな事でも「報告・連絡・相談(ホウ・レン・ソウ)」を怠ってはいけなく感じています。お互いに連絡しなかったため、同じ患者さんのシーツを短時間に二度も交換したことがありました。

小さなミスが大きな失敗につながらないよう、また、こういう事が無駄な出費につながるの、以後気をつけています。私は耳が聞こえないので、相談されるということが

あまりありません。ちょっと残念ですが。

業務連絡は、同僚の皆さんが紙に書いて伝えてくれます。負担をおかけしていると分かっていますが、皆さん嫌な顔もせず書いていただけるのが、本当にありがたく感謝しております。しかし、忙しい時は「つい」という時もあり、いつも様子が違うと訳が分からず困ることもあります。そういう時は、私も意見を言いますし、話を聞いて納得し、自分に与えられた仕事を責任を持って頑張ることが出来ます。

「何でも話し合える職場というのは、患者さんに対しても良いお世話が出来る職場ではないでしょうか？」

私はゆっくりですが、一つ一つ仕事を覚え、縁の下の力持ちになれるよう努力したいと思っています。



看護助手・療養介助職研修会の感想

療養介助員 (東1病棟) **たか はし やす みつ**

今回の研修では、看護助手・療養介助員また国家公務員としての心構えを改めて再確認するとともに、松江病院の運営方針や基本理念、そして経営事情に至るまでの詳しい内容を学ぶことができました。

運営方針や経営事情については、一療養介助員の私としては内容を理解するには非常に難しい部分が多く、大まかな点を頭に留めることとしましたが、松江病院の機能・基本理念、看護部の役割、そして国家公務員としての心構えに関しては、まだ駆け出しの私にとってはとても重要なことであり、採用当初に研修を受けたことをもう一度復習する良い機会だと感じましたので、研修資料に目を通しながら、できるだけ多くのことを吸収しようと努めました。

中でも、国家公務員としての心構えについて、特に集中して聞くようにしました。このことは、何度聞いてもいいと思えるほど、今後病院で働いていく身の私にとって、必要なことだと思ったからです。研修資料を読み進め、講義を聞いていく内にわかる「世間の国家公務員に対する期待」そして、「それと同時に向けられる厳しい目」。まだ、正直なところピンと来ないなと思いつつ、新社会人としてのプレッシャーは少なからず感じていますので、身が引き締まる思いでした。

次によく頭に叩き込んでおこうと思ったのは、自分ではできているつもりでも、実際はまだまだ不十分な点があると感じた「職場のルールとマナー」でした。

研修資料には、[余裕を持った出勤 朝の挨拶 さわやかな装い 積極的な姿勢で仕事を 仕事に責任を 公私のけじめを明確に 休暇は事前に請求を 仕事の進行状況や問題は適切に報告・連絡・相談を] という8つの項目が提示してありましたが、採用からこれまでの約2ヶ

月間、自分では大体できていたつもりでしたが、あらためてこの項目に照らして思い返してみると、やはり上手く実践できていない部分が多々あることに気付かされた次第です。

また、療養介助員として必要なことについても、基本的な接遇のポイントや適切な言葉遣いについて教えて頂いたことにより、改めて認識を深めることができたように思います。

前に述べましたように、社会人としても、療養介助員としてもまだまだ駆け出しの私ではありますが、1日でも早く一人前の援助者になれるよう、今回学んだことを良く理解していきたいと思っていますので、皆様方からのご指導を今後共よろしくお願いいたします。



看護助手・療養介助職研修について

療養介助員（東1病棟） ^{すが}菅 めぐみ

この研修を受けて、良識やマナー、責任を持って、仕事に取り組むことが大切だと学びました。病院の職員として、知識と技術と人間性を高め、患者さんを常に主体とし、思いやりの気持ちを持って、援助していきたいと思いました。

私が務めている重心病棟の患者さんは、自分で意思を表現することができない方も多い中で、異変などに直ぐに気付くことが大事になってくるため、日々患者さんと関わる中、患者さんの日常を知ることによって早く異変に気付くことができ、早く処置することが大切だと考えました。国立病院機構の理念の「患者さんの目線に立って」患者さんに接していきたいと思っています。

また職場のルールやマナーを身につけることも重要だと思いました。自分一人で業務を行っているのではなく、他職種と連携しながら同じ目標に向かって達成しようとしていくため、チームワークを大切にしながら業務をしていきたいと思っています。

病院の組織の中で私も組織の一員として、報告や連絡をきちんとこなし、職務に専念する自覚を持つことが大切だと思いました。私も働き始めて早くも二ヶ月、仕事の流れにも少し慣れてきました。一つ一つの業務を「正確に」「丁寧に」をこれからも心掛け、分からないことをそのままにしないで、他の職員に教を請い身につけていきたいと思っています。

本当に患者さんの笑顔を見ると私自身も嬉しくなります。これからもこの笑顔が見られるよう、患者さんが気持ちよく生活していけるよう、援助できたらよいなあと思います。また、患者さんから日々学ぶことも大変多いのが現実です。その中で、私自身も成長していけるよう頑張っていきたいと思っています。

それから業務の中で、「日々安全で安楽な援助」ができるよう事故予防にも心掛けていきたいと思っています。患者さんにとっても私達援助する方にとっても、互いに安全で安楽な良い援助ができるためにはどうすればよいかという問題意識を持って、取り組んでいきたいと思っています。

最後に、事故が起きる前に防げることも多くあると思いますので、事前に事故を防げるような環境作りの提案を行っていきたく考えています。



看護助手・療養介助職研修会終えて

療養介助員（東2病棟） ^{まる やま たか ひろ}丸山 貴大

5月23日に行われた看護助手・療養介助研修に参加し、改めて病院の役割や看護部の役割について学ぶことができました。今までは経営のことや、運営方針のことがわからなかったのですが、この研修を通して知ることができました。

平成19年度の具体的な取り組みでは、話を聞きながら採用されてからの約2ヶ月の自分の取り組みを振り返るよい機会となりました。始めは、1日の業務の流れを覚えたり、決められた時間までに行わなければならない業務を、時間内に終わらせることに必死でした。

今までの学生時代では高齢者とのコミュニケーションがほとんどで、初めての重症心身障害者の患者様と、どのようにコミュニケーションをとったら良いのか、どのようなことを話したら良いのか、悩んだりしました。また、患者様の一人ひとりに合った介助技術を覚えることや、病院内での仕事を覚える毎日でした。しかし今では、1日の業務の流れも一応把握し、患者様とのコミュニケーションも図れるようになり、コミュニケーションを行うことで、患者様の表情や意思表示を知り、介助技術を考え、覚えることができるようになりました。

採用後約2ヶ月が経ち日々の介助にも慣れてきたとはいえ、患者様の身体介助の面で見落としをすることなく、安全な介助を提供できるように、日々心掛けたいと思います。

まだまだ学ぶ事ばかりの毎日ですが、介助技術の向上を目指して努力したいと思っています。そして少しでも患者様、病院のために貢献できるように頑張っていきたいと思います。



看護助手・療養介助職研修を終えて

看護助手（東3病棟） ^{で しま じゅん こ}出島 順子

今年度の病院の方針は、「第一に障害者病棟の建替計画の承認・実現に向け全力を尽くす」ことである。

病院経営は決して簡単・楽とはいかないが、いわゆる当院の台所事情というものもわかり、また数字的なことについても研修資料にデータがありわかりやすかったです。

私達は職業人であることを忘れず国家公務員として、すべての職員は国民全体の奉仕者として、公共の利益のために勤務し、且つ職務の遂行に当たっては全力を挙げて、これに専念しなければならない。そして患者さんが主体であり、親切と思いやりの気持ちを持って職務に専念しなければならない。

私達は看護助手として、なかなか経営に直接つながるような事はできませんが、単なる収入を得るためだけに働くのではなく、病院の理念と自分の考えをしっかりと持って働くことが必要であり、組織人としてのルールやマナーを守り、自分の態度・行動で、組織全体の信頼を失うことのないよう自分の行動・発言に責任を持つことが大切です。

頭ではわかっている、なかなか行動がとれない日々でしたが、研修を終え一人一人ができることを常に考え、経営に役立つよう努力していきたいと思っています。

【呼吸器疾患の勉強会】

呼吸器の細胞診について

研究検査科 病理主任 **福田 智** ふく だ さとし

細胞診断とは、患者さまから採取（気管支擦過など）または排出（喀痰、尿など）された検体に“がん”細胞または疾患を推定できる細胞を顕微鏡を使用して探し出す検査です。顕微鏡で診るまでの手順は検体から標本作製し、染色を行い顕微鏡で標本の隅から隅まで観察します。もし作製した標本に異常がなかった場合はClass I・Class II（陰性）と報告します。異常があった場合にはその程度に応じてClass III・Class IV・Class V（判定困難、陽性）と報告します。（異常があった標本は医師に確認してもらって報告します。）

では顕微鏡で覗いた標本にはどのような細胞が見られるのでしょうか？

扁平上皮細胞、気管支上皮細胞、組織球、好中球、リンパ球などです。

タバコを吸う人や気管支炎などの患者さまには軽度異型扁平上皮細胞といわれる細胞をみることがあります。また、アスペルギルスやクリプトコッカスなどの真菌も認めるときもあり、時に石綿に暴露された患

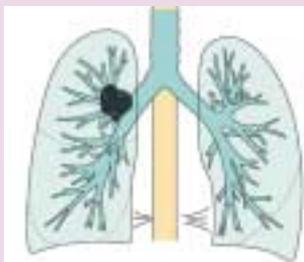
者さまにはアスベストを認める場合もあります。“がん”細胞がある場合もあります。

肺がんには主に4つのタイプに分類されます。扁平上皮癌、腺癌、小細胞癌、大細胞癌です。扁平上皮癌と小細胞癌は大きな気管支に発生しやすく腺癌、大細胞癌は末梢に発生しやすいと言われています。

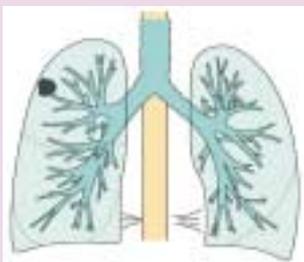
扁平上皮癌の特徴は、背景に壊死物質を認めたり、色彩の濃い細胞が出現したり、細胞質に重厚感がある細胞を認めます。腺癌の特徴は“まりも”のようにモコモコとした細胞で出現し、細胞質から核が突出していたりします。

細胞質は淡明でレースのカーテンのようです。小細胞癌は小型で裸核に出現します。リンパ球とほぼ大きさに同じなので注意が必要となってきます。大細胞癌は大型細胞が出現することが特徴です。

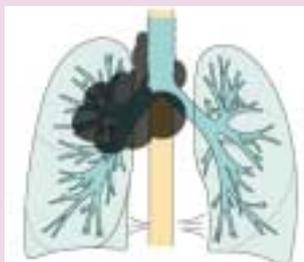
なかには鑑別が困難な場合があり、画像診断、血中腫瘍マーカー、臨床所見などを参考にしながら診断を進めていきます。



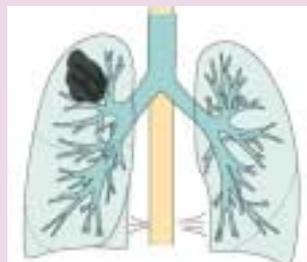
扁平上皮癌の発生部位



腺癌の発生部位



小細胞癌の発生部位



大細胞癌の発生部位



扁平上皮癌



腺癌



小細胞癌

飲酒運転は根絶!!



禁煙

当院の敷地内は
禁煙です！



BGMの導入～患者サービス向上に、非常用放送設備を活用して～

企画課長 ^{たか} ^た ^{ゆき} ^{はる}
高 田 幸 春

平成19年5月下旬より、非常用放送設備を活用したBGM放送を始めました。

外来患者さまの待ち時間中のイライラ感等の解消については、待



外来待合ホール(受付窓口前)に新設した天井スピーカー

合いホールでテレビ放送の視聴提供を行って努力していますが、一歩進めて更に向上する癒しの手立てがないものかということになり、この度BGM放送構築の運びとなりました。

構築にあたって留意したことは、BGM専用の放送設備(アンプ・スピーカーなど)を新たに構築しないこと。スイッチのON、OFFを人の手によることなく自動で行う放送が可能となること。(スイッチの入れ忘れ、切り忘れを防ぐため)外来診療日以外は放送しない設定プログラムでの自動放送が可能となること。



外来廊下(①番診察室前)に新設した天井スピーカー

以上の要件を満たすシステムとして、「デジタルミュージックマシン」があり、この機種に注目しました。というのも、この機種はコンパクト設計であり、当院の非常放送ユニットに収納が可能という特徴があったた

めでした。

このシステムの機能は、次のとおりです。

音楽CDと同等程度の高音質のうえ、大容量デジタルメモリーカードによる長時間の再生が可能である。

BGMとアナウンス(放送)のミキシングが可能である。(非常放送優先)

半導体メモリーによるメカレス設計のため、摩耗する回転・駆動のメカを使用しなくて、メンテナンス・フリーで長寿命、かつ繰り返し使用にも音質の劣化がない。

内蔵タイマーによる1年365日間の自動放送機能(放送日時等の設定)がある。

最後に音楽ソース(音源)を何にするかということですが、当初はオルゴールとピアノを中心とした音楽で試験放送を行ったところ、オルゴールの高音部分が頭に響き過ぎ、評判が余り芳しくなかったため、患者様・職員等の意見を聞きながら行き着いた音楽は弦楽器を奏でる音楽が良いということになり、現在はバイオリン演奏中心の音楽を流しています。



放送場所は今のところ非常放送ユニットと収納した『デジタルミュージックマシン』'外来診療棟'のみですが、朝の午前8時から昼の午後2時までの時間帯で放送していますので、皆さんもちょっと足を止めて耳を傾けてみませんか。

ボランティア活動報告(その①)

～天理教による「草刈り」奉仕活動【ひのきしん】～

今年、名称が「みどりの日」から「昭和の日」となった4月29日の祝日に、毎年恒例行事となっている『天理教の奉仕活動【ひのきしん】-「草刈り」』が行われました。



院長挨拶

なんとこの日は、北海道から沖縄まで日本全国津々浦々に至るまで、天理教では『奉仕活動【ひのきしん】の日』と定め、毎年全国一斉にボランティア活動を行っているそうです。

当院は旧療養所の施設ということもあって、緑に囲まれたとても療養環境の良い土地に建立している病院であります。逆に言えば、草木の手入れを少しの期間怠るだけで、とても見られない様相を呈してしまうということです。

日頃から月例行事ということで職員による草刈り等の清掃作業を実施していますが、広大な敷地を擁する

当院としては、なかなか作業が雑草・雑木の成長のスピードに追いつかず、「この前この箇所の草は刈り取ったはずなのにもう生えている」ということが度々あります。シルバー人材センターにも清掃委託をお願いしていますが、費用の問題もあり、そんなに多くの依頼はできません。

そんなこんなで、年間を通じて、雑草の処理(除草)には苦勞しているものですから、ボランティア活動で草刈りを実施して頂けるととても助かります。

特に春先のこの時期は草木が一斉に芽吹く時期でもあり、対応に当たっている少人数の職員ではとても間に合わない状況となりますので、300人を軽く超える天理教の大集団によるボランティア活動には大変感謝しております。

やはり数の力は偉大で、見ている間に病院の周りが綺麗になっていきました。

また、300人以上の草刈り奉仕活動でしたが、幸いなことに誰一人として負傷された方がいませんでしたので、ホッといたしました。



草刈り風景

「看護の心をみんなの心に」

～買い物の合間に健康チェック～

「看護の日の行事」実行委員会 委員長
 第10病棟 看護師長 ^{いし} ^{かわ} ^{かず} ^え
 石川和枝

今年当院は、看護の日の行事を近隣のスーパーで「看護フェア」と題して5月11日に開催しました。例年ですと病院内で行っていましたが、今年は地域の方々に自分の体について興味を持って頂き、健康度をチェックしてもらえたらと病院内で行うことにしました。

看護部看護の日実行委員会が主催でしたが、徳島病院長自ら参加され医療相談を行い、薬剤師・栄養士の方の協力も得て行うことができました。

今年は体成分分析器を用意して、買い物に訪れたお客様を対象に体脂肪量や内臓肥満評価、体成分測定、体型判定をしました。3分程度器械の上に乗るだけで総合的に体の分析を行い、1枚の用紙に結果が出てくるのです。その結果をもとに医師・薬剤師・栄養士がコメントをして現在の健康状態が詳しくわかり、そこで健康相談にもなることができました。10時から12時までの2時間余りの短時間でしたが、約80名の方が立ち寄ってくださり盛況に終了することができました。



体成分分析結果表 (サンプル)

この日は天候にも恵まれ、暖かな陽ざしの中買い物前後にお客様は立ち寄ってください



看護の日 (案内板)

ました。最近は家庭でも血圧や体脂肪率は簡単に測れるようになりましたが、家庭では難しい内臓肥満率や栄養評価などがすぐに測定できるとあって「測ってみたい。」「自分は大丈夫だと思うけど。」などと言われながら参加されていました。みなさんが、一番関心が高かったのは「身体年齢」で、実際のご自分の年齢より若く出ていると笑顔で喜ばれていました。「日頃、病院に行くまでではないけれどね。ちょっと聞いてみたいことがあった。」と看護師に尋ねる方や、スーパーの店長や店員の方々も仕事の合間に測定にいられました。

また、買い物に来られた方々に当院主催の「肺がんフォーラム」のパンフレットも配布し、6月30日に松江市の「くにびきメッセ国際会議場」で開催します第2回呼吸器市民公開講演会へのお誘いもしました。そのことは地域の方々に、松江病院が呼吸器専門の病院であることを知って頂く良い機会ともなりました。

このイベントは看護部主催でしたが、他部門の協力もあってこそ実現できたものです。今後も、当院の理念でもある『心の通いあう医療』を目指し、地域・社会に貢献できるようにチーム医療として職種間で連携をとりながら色々な取り組みを行っていききたいと思います。



看護の日の行事開催状況

梅雨入りも間近かと思われた6月の始め頃、様々な社会貢献に積極的に取り組んでいる企業の新和設備工業(株) [島根県松江市平成町] から、「地域の地域社会奉仕活動の一環として、松江病院の草刈り作業を社員数名で行いたい。」と、ボランティア活動の申し込みがありました。



草刈りボランティア

4月の終わりに天理教による草刈りボランティアの受入れ後は、玄関周りの雑草除去に手を取られ、休棟している旧第3病棟付近の草刈り対応ができていない状況になっていました。

まさにそのような「渡りに舟」状況下でしたので、新和設備工業(株)からの連絡に躊躇いもしないで、ボランティアをお願いさせていただきました。

活動人数の予定が10数名ということ、活動時間は半日程度ということ踏まえて、草刈り場所の範囲を指定したところ、精鋭のボランティアが来られていたため、6月8日のボランティア活動は予想を上回る早い時間で終わってしまいました。

作業終了後の挨拶のなかで、代表の方が「今後も松

ボランティア活動報告 (その②)

～ 新和設備工業(株)による「草刈り」奉仕活動 ～

江病院で不定期のボランティア活動を継続して実施していきたい」と述べられて、帰られました。

それから丁度1ヶ月後の7月8日に再び草刈り作業のボランティア活動を行うために前回同様、10数名のメンバーがやって来ました。

『6月、7月と2ヶ月連続で当院の草刈りを実施して頂いたお陰で、院内の美化を図ることができ、職員一同大変感謝しております。』と、院長から会社の代表者宛に御礼状を送付させていただきました。

なお、今回のボランティア活動も前回と同様に負傷された方はおられませんでした。不慮の事態に備えるために、当院の院内規程『ボランティア受入れ規程』に制定している「ボランティア保険に加入してからボランティア活動を開始して頂く」ことを徹底していかねばいけないと思えました。



除草の回収状況

名誉院長・新院長の就任祝賀会が開催される！

管理課長 ^{すぎ}杉 ^{むら}村 ^ち千 ^{あき}秋

去る4月25日にJR松江駅前の松江東急インホテルで、3月31日付で国立病院機構松江病院の名誉院長の称号を授与されました前院長の中井 勲先生と4月1日付で当院の前副院長から新院長に就任されました徳島 武先生、お二人の益々のご活躍と病院の発展を祈念して、山崎事務部長・加納看護部長の発起の下に合同の祝賀会が盛大に開催されました。



中井 名誉院長



徳島 新院長

まず、山崎事務部長の発起人挨拶から祝賀会の幕が開け、続いて中井名誉院長の挨拶、徳島新院長の就任の抱負挨拶が行われました。その後、加納看護部長による祝杯の発声で歓談となりました。

暫くして、武田名誉院長と竹山副院長からの祝辞を頂き、本格的な歓談に入りました。あまり堅苦しくない就任祝賀会にして頂きたいとの中井名誉院長・徳島新院長のご意向

もあり、今回の祝賀会は在職中の職員だけの案内にとどまりましたが、総勢70名の参加という盛大な祝賀会となりました。



深田 看護師による熱唱！

歓談が始まると、プログラムに予定してなかった職員によるお祝いのスピーチや歌や踊りなどが途切れることなく続き、祝賀会ムードを盛り上げました。中でも、第10病棟の深田



武田 名誉院長

看護師のア・カペラ (* 伴奏なし) による『祝い唄』は、情感溢れる聴き応えたっぷりの歌い廻しで、会場から割れんばかりの拍手を浴びていました。

名残り尽きない雰囲気のまま時間が過ぎ、高田企画課長の万歳三唱で会の終わりを迎えました。職員が一致団結できた印象深い祝賀会となりました。

春の防火避難訓練（夜間想定）の実施

職員係長 ^{つの}角 ^{おり}折 ^{さとし}聖

5月とはいえ既に夏模様の5月31日に、春の「防火避難訓練」を実施しました。

今回の訓練は夜間の時間帯想定で行ったため、「災害時等の緊急連絡網」による伝達状況の確認が訓練のポイントの一つとなりました。



患者誘導状況

訓練は夜間の20時頃に第1病棟配膳室から突然出火し、病棟準夜勤務者が発見し、「火災発生」を大声で知らせるとともに火災報知器のボタンを押して全館へ知らせ、事務当直者へ通報し、消火器にて初期消火を行いました。

事務当直者は、「災害時等の緊急連絡網」に基づいて宿舍入居者を中心に伝達しました。連絡網に従って、呼ばれた宿舍入居者は本番さながらに実際に宿舍から息せき切って現場に駆けつけました。

火災現場においては当直医師・看護師長の指示を受け、患者避難を優先に避難誘導・消火活動を行い、模擬患者全員を無事に避難場所まで避難させることができました。

訓練実施後に松江消防署からは、「特に気付いた点もなく、皆さん熱心に訓練されていました。」との講評があり、引き続き消火器を使っての、消火訓練を主に新採用者・転任者で行いました。皆さんの殆どが余り大きな声で「～火事だー。火事だー。～」と叫ぶことができませんでしたが、この4月から採用となった若林内科医師は、皆の手本となるような見事な発声と消火体勢で拍手を浴びていました。



若林先生、ポーズがきまっていますヨ！

アジアを代表する巨大都市「上海」の医療・経済事情の一端

庶務班長 くすのき 楠 たくみ 巧

東京都の人口よりも多い推定人口約1,700万人の都市。未来都市を思わせるような超近代的な高層ビル群の都市。さてさて、ここはどこでしょうか？



江南の都：蘇州

おわかりになった方も多いと思いますが、答えはアジアを代表する巨大都市である「上海」です。ここは、高層ビルを象徴とする「新しい街」と租界時代の洋館、更にもっと古い時代の中国式家屋・寺院が残っている「古い街」が混在しており、とてもエキゾチックでエネルギーが溢れる街です。

まず医療に関してですが、医療機関の形態は、入院設備のある医療機関が「病院」で、日本のクリニックに当たるのが「門診部」で、老人施設は「療養院」といいます。

また、医療機関は原則国営ですが、最近是一部民営の病院も出現してきているということです。「病院」は、3級病院（県立、大学附属病院）、2級病院（市町村立病院）、1級病院（地域診療所）の3つのクラスに分かれています。日本同様に3級病院が高度医療を担当しており、最新の医療機器も備えています。2級以上の病院は、原則24時間体制の運営で、緊急を要する診療科の当直医師が最低限度の人数待機しているとのこと。

日本と違い、看護師数よりも医師数の方が多いというのが驚きでした。

外来については、どこの病院も混雑しているらしく、一つの病気を診てもらうには最低半日はかかるといった方がよいそうです。この辺りは、混んでいる日本の病院とあまり変わらないようです。

中国には日本と同様に健康保険制度がありますが、給付の仕組みが若干異なるようです。「社会保障カード」という写真付きのカードが国から配付されて、そのカードに毎年一定の時期に「医療給付金」という本人の収入に応じたものが、振り込まれます。そして、その残高が「0」になるまでは医療費は無料で、「0」となった時点からある一定金額を超えるまでは、今度は全額自己負担となります。また、それ以上は年齢に応じた負担割合で支払うという再度保険

が使えるようになる制度だそうです。

さて、この制度の対象外である旅行者などが、「高熱を出して病院にかかった場合、診察・検査・点滴の治療費は合計で、どのくらい必要なのか？」という疑問を、上海在住の添乗員に聞いたところ、「受診する病院にもよるが、地元の公立病院であれば、全額自費で100円から高くても200円は要しない（*1円=約16円）」とのことでした。ただし、観光客等が海外傷害保険に加入していないということが分かれば、約3万円（=1,875円）もの治療費を請求されることもザラにあるとのことでしたから、これはちょっと怖いなあと思いました。

次に経済に関しては、乱立する高層ビルやマンションが経済発展の印とばかりに、至る所で所狭しと建築中でした。ちなみに最近の新築マンションの価格は、1戸あたり平均約100万ドル（日本円に換算すれば約1億3千万円弱）ということになります。この価格だけでもすごいと思われるでしょうが、こちら上海の平均的な会社員の収入は、日本の平均的な会社員の収入の約6分の1ということをおさえると、日本的な感覚から見れば、このマンションの価格は上海の6倍の値段=約8億円弱ということになります。

この一端の例をみるまでもなく、上海の経済力の凄さは、街並みを行く人々の活気な姿や桁外れの交通量（*マイカーより多いのがフォルクスワーゲンのタクシー）を見れば、感じることができます。

一昔前は、「アメリカがクシャミをすれば日本が風邪を引く」等と言われたこともありましたが、今は「上海がクシャミをすれば世界中が風邪を引く」とまで言われるくらい、中国（特に上海）市場が世界の株価に与える影響は甚大なものがあるようです。

実際、今年の2月28日に上海市場の株価暴落により、日本を始め世界中の株価が即日下がったことは、まだ記憶に新しいところです。

以上が、上海の医療・経済事情の一端を現地で垣間見たり聞いたりしたことを中心に抱いた雑感です。



新天地（旧フランス租界）

祝！『石見銀山世界遺産登録』

事務部長 やま 山 さき 崎 ひろし 寛

島根県大田市にある「石見銀山遺跡とその文化的景観」が、平成19年7月2日の世界遺産に登録されました。国内の世界遺産としては14件目で、産業遺産としては国内初となりました。本年5月のユネスコの諮問機関イコモスの「登録延期」勧告から、大逆転の2段階跳びでの「登録」となりました。

同じ島根県内にある病院として、協賛の意を込め玄

関に垂れ幕を掲示させていただきました。



平成19年度「睦会（在宅酸素療法患者会）」総会に参加して

看護師（外来） ^{さわ} 澤 ^だ 田 ^{ちか} 寛 ^こ 子

今年度の「睦会」の総会並びに研修会が、去る6月23日（土）に開催されました。会員（家族含む）15名、病院スタッフ11名、業者8名、総勢34名が出席での会となりました。例年、総会は外来の待合ホールで開催されていましたが、事前の役員会で『今年度からは趣向を変えてみよう』という話が持ち上がり、今回は院外の会場で昼食会を兼ねて実施されることとなりました。

当日は晴天に恵まれ、出席を予定した会員さんは皆お元気に参加されました。前日までは雨が降り続き、外来スタッフ一同天候をととも心配しましたが、皆の願いが通じたのかほっとしました。外来に集合し、健康チェックをした後、バスに乗り、松江市内の食事処へ向かいました。

まず石川循環器科医長による講義「慢性呼吸不全何が必要か？～循環と呼吸の立場から～」がありました。イラストや写真の沢山入ったわかりやすい資料をもとに、丁寧な講義がされました。その後の質疑応答では『歯磨きを楽にする方法は？』等の質問があり、石川医長の回答だけでなく、会員さんや業者からも日常生活上における工夫などの意見が出ました。また、『呼吸を楽にするリハビリの方法が知りたい』『食べやすい、飲み込みやすい食事の工夫が知りたい』等、今後の活動に繋がる意見が出ていました。

一段落した後、食事会となりました。魚を中心とした美味しい和食を頂き、会員さんやスタッフとの会話もいっそう弾みました。その後、総会が行われ、会員さんの中から『年々会員数や行事の参加者の数が少なくなっているが、どうしてなのか？』『会員数を増やすために、どのような工夫をしたら良いか』等の意見が交わされました。『年々会員数が減少しているのは「睦会」に限ったことではなく、他院の患者会でも同様である』こと、『「睦会」の活動は他院の患者会に比べて充実している』、と業者の方々からコメントを頂き、『「睦会」は今後も会員同士で声かけをしつつ、意見を出し合いながら、会を継続していけるよう頑張っていきましょう！』と皆で誓い合って閉会となりました。

閉会后、参加された皆さんに感想を書いて頂き『石川先生のお話は大変参考になりました』『食事会もとても良かったです。次回からもこの形式で』『和やかで楽しい一日でした』『会員皆さんの元気な顔が見られて良かった』などの意見が多数寄せられ、外来スタッフも励まされました。このような会を継続させていくことは容易なことではありませんが、これからも会員さん、外来スタッフ、先生方、その他の方々も多数含め、協力し合いながら「睦会」がより発展し、継続していけたら、と思いました。

経費節減方策の実施

～ フィルム貼りによる熱効率アップを企画 ～

企画課長 ^{たか} 高 ^た 田 ^{ゆき} 幸 ^{はる} 春

5月31日の熱管理委員会において「冷房の実施」「光熱水料」等について話し合いが持たれました。その中で、光熱水料が重油金額の昨今の高騰により、使用量が減少しているにも拘わらず、使用金額が増加しているため、各職場でこまめに節減に努めてくださいとお願いしたところです。

事務部門も冷房実施基準にある「冷房の設定温度を28以下にしない」「中央冷房稼働中は単独エアコンを使用しない」「冷房中は窓やドアを開けっ放しにしない」「使用しない部屋の電源スイッチは切っておく」等の点を励行することに加えて、冷房能力の熱効率を高めるために、例年冷房を開始する前にはフィルター清掃を行っていますが、今年度は新たな試みとして、南側の窓ガラスに太陽熱を軽減する働きがある

スモークフィルムを貼りました。実際窓際に立ちますとフィルムを貼ったところと貼っていないところでは、肌を感じる暑さが大きく違いますので、その効果が期待できると思います。

数値上の節減効果は、今年の冷房シーズンが終了してみないと結果はわかりませんが、窓際で業務をしている人にとっては、数値以上に体感温度が低く感じられておりますので、業務の能率向上に貢献しているものと思っています。



スモークフィルム貼り

鳥取県とブルガリアの経済・文化交流会の旅

副看護部長 ^{こん}近 ^{どう}藤 ^{のり}紀 ^こ子

鳥取県倉吉市は、佐渡ヶ嶽部屋の先代親方（琴櫻）の出身地であり、毎年4月に「桜相撲祭り」を行っています。大関琴欧洲の出身地がブルガ



トプカプ宮殿

リアであることや、倉吉市出身の福井氏がブルガリア特命全権大使として赴任されていることなどで縁があり、今年5月に倉吉市長を団長、北栄町長（裏千家倉吉副支部長）を副団長とした、総勢26人の交流団に夫婦で参加しました。赤瓦陶芸館で焼いた自作の抹茶茶碗等の茶道具や、男性はスーツ・女性は着物を持参での、飛行時間14時間・時差6時間の旅でした。

ブルガリア日本大使館で行われました交流会には、琴欧洲の父ステファンさんやブルガリア相撲協会理事長さん、そして各国の大使御夫婦など招待者200人以上の方で親睦が深められました。鳥取県物産展には、倉吉の地酒や梨ワイン・ラッキョウや長芋・海産物など、味覚試食コーナーに人気が集まり熱気あふれる交流会となりました。茶道裏千家淡交会が催した大茶会では、打吹公園団子とお抹茶、持参の道具や和紙の新作ランプの展示と茶箱や台子のお手前により、日本文化の紹介としました。掛け軸に、『晴れてよし 曇りてもよし 不二の山 元の姿は 変らざりけり』と大徳寺太玄和尚の書を掛け、どの国の人も人として皆変わらないという友好の意を表したものでした。ボランティアの通訳で、各国の方々が紹介しあい会話も弾み、活気溢れた交流会となりました。私も紹介を受け、「インド」といわれて、「・・ジャパーン」と挨拶するのに、内心タジタジでした。淡交会ブルガリア支部の皆さんとの交流茶会では、笑顔と片言と手真似で協力しあい、茶会を盛り上げることができました。

ソフィア市内の大きな木立の並ぶ街道は、マロニエの花が咲き並び農耕主体の優雅な風景でした。新築住宅は、鉄骨の仕切りに煉瓦で壁を作る方式が多く、道路標識は英語とキリル文字の両方で描かれていました。また、旧街道には石を敷き詰めた路面が残っていました。今も地下は残っているようですが、地下に隠れ

たアイコン（聖職像）の魅力を求め歩く、五木寛之の「ソフィアの秋」の舞台となった町だった事を思い出しました。町からムサラ山に向かって2時間ほど進んだ深い山中に、世界遺産「リラの僧院」がありました。そこでアイコンの絵を見ることができました。途中、コウノトリが民家の煙突に巣作りしている村を通りました。コウノトリの夫婦は一生別れないで暮らし、毎年必ず決まった日にやってきて決まった日に飛び立つそうです。飛べない鳥がいる時は夫婦を残し飛び立ち、次の年に殺すそうです。夫婦の絆と仲間や子孫を守り統率する掟の厳しさで生きている姿にたくましさを感じました。

翌日ソフィア空港から、→→飛んでイスタンブールとメロディが聞こえてくる明るくエネルギーな町へ移動しました。トルコ空港を出て、黒海と地中海を繋ぎ、ヨーロッパとアジアを繋ぐボスポラス海峡を眺めました。アジア側に面したウスキュダルには、東西交易の拠点だった風格のある建物が数多く残っていました。海底地下トンネルを日本企業が手がけているそうです。ヨーロッパ側には、今も海岸に添って城壁が残っていました。4世紀のビザンチン帝国から15世紀のオスマン帝国の支配で、キリスト教とイスラエルのアラーの神が融合したアヤ・ソフィア大聖堂やブルーモスクなどの世界遺産がありました。壁画に描かれた神の表情は、ガラスのモザイクで作られ、光の射し込む角度により変化するそうです。トプカプ宮殿には、86カラットのダイヤの指輪や3cm大のエメラルドやダイヤでできた短剣など究極の宝石があり、当時ハレムに100人も美女を抱えた、遙か王宮の時代にふれる事ができました。ベリーダンスは、今もトルコレストランで観光客を楽しませ、私たちも満喫することができました。

今回の旅は、とてもすばらしい思い出となりました。言葉足らずとなってしまうかもしれませんが、以上報告させていただきます。



淡交会ブルガリア支部の皆さんと（筆者）

医療事故防止標語

忙しくても、焦らず一息 確実に 外来看護師作

平成18年院内募集標語より

オーストラリアへ行ってきましたヨ

第2病棟（一般）看護師 ^{にし} ^だ ^{あけ} ^み
西田明美



オペラハウス前

初めての海外旅行ということでもとても緊張していましたが、関西国際空港で5月21日（月）20時発の飛行機に乗り、機内食を食べたら“アッ”

という間に夢の中に旅立ちました。

翌朝の5時にケアンズに到着しましたが、オーストラリアの第1印象は“とっても、暑いっ！”でした。季節は秋と聞いていた[* 南半球なので北半球にある日本とは季節が逆です]ので、気温・湿度の高さにビックリしました（なんと冬でも最低気温が14度はあるとのことでした...）。長袖で行っていた私は日が昇ると共に、汗...汗...でした。周りの人達は皆、半袖・ランニング姿です。

スカイレール [Skyrail] に乗り、見ることができたら幸せになるという言い伝えがある「青い蝶（* ユリススといひます）」を探しました。やっとの思いで見ることができま

したが、時速40kmで飛ぶとのことで一瞬のうちに見失ってしまい、もちろん写真に撮ることもできませんでした。それから実物



「キュランダ鉄道」

のコアラも見ることができました。目を閉じてズーッと眠っており、ほとんど動かず、まるで縫いぐるみの様でしたが、よく見ると呼吸していました。

また、私達が旅行する1週間くらい前までは土砂崩れのために運休していた「キュランダ鉄道」ですが、普段の私の善行が幸いしたようで(!?)、復旧が間に合って当日は乗ることができました。これはとても長い長い鉄道でした。

次の日はグリーン島へ行ってグラスボートへ乗り、あの二モ（* かくれクマノミ）等を見ました。海は底が見えるほどで、本当に綺麗でした。グリーン島での何よりの思い出は、昼食時、鳥がたくさんいて嫌だなと思いつつながら食べていると、突然私のテーブルに乗ってきてパ

ンを1つ持って逃げました。そうしたら多くの鳥が鳴き声を上げて移動し、それを見た店員さんがすごい勢いで追っかけ、パンを取り戻しました。楽しいはずの食事の時間が、落ちていて食べれず...しかもパンも1つに減ってしまい最悪のシーンとなってしまいました。

その次はシドニーへ移動し、オペラハウス・ハーバブリッジを見ました。ここは文字通り見るだけの観光でした。昼食は何故か中国料理でしたが、今回のオースト

ラリア旅行で食べ



「スカイレール：キュランダ駅」

た中で1番おいしかったです。最後に怖そうな店員さんが来て、“Beer”と言ってきました。最初にお金を払ったのに...と思っ

ながら、英語・中国語が殆どできない私は困り果てましたが...ジェスチャーでどうにか通じ、ホッとしました。

旅行はハードなスケジュールを組んでしまったためか、あまりにも疲れ果て、最終日は夕方頃から眠ってしまって、気がついたときには既に夜になっており、ちょっと勿体なかったです。夜は、シドニータワーで夜景を見ながらの夕食でした。トラブルを含めて色々なことがありましたが、終わってみれば全て楽しい思い出となりました。

最後に、エステサロンでも使われていて、ビックリするほど耳垢がとれるという評判の「イヤークャンドル EAR CANDLE（* 耳にキャンドルを立てて火を点けるといふもの）」を自分のためにお土産として買いました。地元の店員さんに勧められ、「この商品は何か怪しいな!？」とは思ったのですが、結局買って帰りました。

まだ使ってはいませんが、まもなく使う予定です。なお、使用感を聞いてみたいと思われた方は私、西田までお尋ね下さい。お待ちしておりますので。♡♡



「幸せを呼ぶ青い蝶：ユリスス」

病院にテレビドラマがやって来た!?

庶務班長 くすのき 楠 たくみ 巧

その狂騒は年度末の3月の終わり頃、一本の電話から始まりました。



エンドロール・クレジットの病院名

「ドラマで病室のシーンがあるんやけど、おたくの病院で撮影させてもらいま

へんか〜」と京都弁のはんなりとした語り口で、いきなり依頼がありました。

依頼内容を尋ねたところ、概要は次のとおりでした。

フジテレビの土曜日のドラマ枠（21時から23時まで）で、今夏の放送が決定した仲間由紀恵主演の『島根の弁護士』という人気コミックが原作のドラマ撮影を島根県内でオールロケするというもので、ドラマの中に病室シーンがあり、当院で撮影がしたいというものでした。

撮影許可を出すかどうかで、かんかんがくがく侃々諤々の議論となりましたが、最終的に病院のPRになるだろうということで、撮影「OK」を伝えました。

「OK」を伝えたのはいいけれど、何せ取材を受けたことはあってもドラマ撮影の受入れは初めてのことで、正直何をしてもよいのやら皆目検討が付きませんでした。

「4月1日に撮影スタッフ12名で、下見を兼ねて打合せに行きます。」と交渉窓口担当の方から連絡がありましたが、かつ本当にエイプリルフールの日に来てくるのかなあ、担がれたんではないだろうか、と当日スタッフがマイクロバスで到着するのを見るまでは、不安で仕方ありませんでした。

テレビドラマの撮影スタッフといえば、何か胡散臭い連中というイメージが何故かありまして（* 実態を知らなかつただけなんです）、どの様に接してよいのか倦ねておりましたところ、皆さん礼儀正しく受け答えされたので、逆にこちらが面喰らいました。変な先入観は良くないということが、身も持ってわかりました。

さて、撮影日程が4月23日に決まり、当日までに準備しておくものをお願いされました。当院での撮影は病室内で患者さんの臨終シーンということで、重要な物品としては、医療機器のハートモニター（呼吸心拍監視装置）と患者モデル人形を依頼されました。笠置臨床工学技士に調達をお願いしたところ、医療機器メーカーはドラマ放映のエンドロール・クレジットに撮影協力会社名を流していただければ、無償で貸与します

とのことでした。そうすると撮影会社のスタッフは慣れたもので、「わかりました、それでOKです。」と、よくあるケースとばかりに簡単に回答してきました。テレビ業界はこのようにして、経費の削減を図っているのだということがよくわかりました。

いよいよ撮影となったわけですが、当日は朝早くから約40名のスタッフが大量の撮影機材と共に狭い空間の病室に押し寄せて来ました。

当院での撮影シーンが実際にテレビで放映される時間は、長くても4～5秒間というとても僅かなものだったのですが、撮影カメラ、照明、TVモニターなどの位置を決定するのに何度も何度もテストを繰り返していました。そして、ドラマシーンのリハーサルはもちろん何回となく行われました。このとき撮影監督さんがスタッフを通し、点滴スタンドやハートモニターと医師、看護師の位置等の配置関係について、当院の加納看護部長に意見を求めてきましたので、俳優・スタッフに混じってアドバイスをを行うシーンが多数見受けられました。

本番の撮影シーンも一度や二度では「OK」とはいかなくて、十数回に及んだと思います。結局、撮影が終わったのは昼過ぎ頃でしたので、僅か4～5秒間のシーンのために半日を費やしたことになります。スタッフの一人に「いつもこのくらい時間がかかるのですか」と質問したところ、「ええ、大体こんなもんですわ〜。今日（の撮影）は早いほうとちゃいますか」と返ってきましたので、本当にドラマ撮影は大変な労力を要するものだとならためて実感した次第です。

最初の依頼から撮影までの約1ヶ月、終わってみればアツと言う間でした。とてもドタバタした日々でしたが、なんだかワクワクした1ヶ月間でもありました。主演女優は、当院の撮影シーンには来なかったけれど

このテレビドラマは、既に先日7月14日（土曜日）にフジテレビ系で放映されましたので、ご覧になった方も多いと思いますが、番組の終わりに当院の名称【国立病院機構 松江病院】が、撮影協力施設として

エンドロール・クレジットに流れたときは、職員として“ちょんぼし”感激してしまいました。



当院で撮影されたシーンの一場面

『ふれあいの日』の行事の特別メニューです!!

6月3日(日)に東1・2病棟(重心病棟)の合同行事として、「ふれあいの日」の行事が行なわれました。

栄養管理室では指導室からの依頼を受け、昼食の献立として特別メニューの「ドリア・かき玉スープ・マカロニサラダ(または含め煮)」を提供しました。(一部の食種を除く。)

ドリアはコンソメとケチャップで味をつけた軟らかいご飯に、玉ねぎ・えび・ベーコンを加えたホワイトソースをかけてオーブンで焼きました。

初めてのメニューでしたが、病棟のスタッフや調理師と相談し、試作を行いながら作り上げた傑作です。

栄養管理室からのお知らせ

栄養管理室 管理栄養士 **伊東 志織**

当日は暑いくらいの良い天気で、新しいメニューのドリアも患者様に大変好評でした。



プリン・マカロニサラダ・ドリア・かき玉スープ

院内保育園
だより

『震度7!』『恐怖の地震体験!』

～親子遠足を終えて～

さくら保育園 保育士 **あ だち ひとみ
足 立 瞳**

6月6日(水)に、さくら保育園の親子遠足で、松江消防署へ行ってきました。

病院前から路線バスを乗り継いで行き、消防署に到着するとさっそく司令室へ。

保護者の方が、携帯電話で119番通報を試してみたり、消防士の方にお話を聞いたりしていると、モニターに見覚えのある建物が。何と、う、うちの保育園!!が。消防署のカメラで映してくれていたのです。ちょっと感動～!

その後は、恐怖の(!?)起震車(地震を体験できる部屋が搭載されている自動車)へ。「震度7」の揺れを体験しました。園児はお母さんと一緒に乗っても大変怖かったけど、グッと泣くのをがまん!やったね。ところが見ていたお友達の方が、泣いてしまいました。

救急車の説明のところでは、さすがに看護師のお母

さんが多いただけあって、『うんうん』とうなずいておられる方が多かったように思います。

消防隊の訓練の様子には、子ども達も「かっこい~!」とほれほれ♡♡でした。

また、消火器を使った消火訓練もして結構疲れしました。

最後(finish)は、ハシゴ車の出動です。みんなして、どんどん高く上っていくハシゴを見上げていたら、アララ、地面に寝転んじやいました!

身近で見るハシゴ車は、さすがに迫力満点でした。北公園でお弁当を食べ、再びバスに揺られて保育園に帰りました。

今回は大人も楽しめたのではないかと思います、やっぱり子どもの相手は大変!!

お父さん、お母さん、本当にお疲れ様でした。

園児募集

院外者の園児も募集しています。
お気軽にご相談ください。

随時募集

国立病院機構松江病院 **さくら保育園**
電話**21-6131**〔内線**206**(杉村)・**508**〕



～永年に及ぶ勤続、本当にお疲れ様です。～

永年勤続表彰

さる4月20日に独立行政法人国立病院機構永年勤続表彰の伝達式が当院会議室において、行われました。院長から永年勤続者に対する感労と今後の病院運営に関する激励の挨拶があり、表彰状と記念品が各人に授与されました。なお表彰された方々は、次のとおりです。

【30年以上】

- ・副看護師長
- ・看護師

か 加 ふか 深	じ 地 だ 田	のり 憲 えい 映	こ 子 こ 子
-------------------	------------------	--------------------	------------------

【20年以上】

- ・副ボイラー技士長
- ・副看護師長
- ・副看護師長
- ・看護師
- ・看護師
- ・看護師
- ・栄養管理室長

たけ 竹 か 加 きり 桐 お 尾 よし 吉 み 三 むら 村	たに 谷 とう 藤 はら 原 ぞえ 添 おか 岡 しる 代 かみ 上	かつ 勝 な 直 え 恵 し 志 や 弥 み と 豊	み 美 こ 子 り 理 こ 子 い 生 ほ 保 よ ほ し ず と よ し 司
--	---	--	--



内科医師
わかばやし きりょう
若林 規良

みなさん初めまして、内科医師として4月1日付けで採用されました若林規良です。出身地は和歌山県和歌山市、出身大学は島根医科大学（平成11年卒）です。前任地は島根大学医学部附属病院で、主に脳血管障害に関する臨床・研究をしていました。趣味は一応ゴルフです（月一ゴルファーですが）。日赤和歌山医療センター麻酔科および救急・集中治療部で1年間に亘る研修をして以来、呼吸器疾患に強い関心を

新人医師の紹介

持っていましたが、念願かなって4月からは呼吸器疾患診療をさせてもらっています。一応、内科専門医および老年病専門医ですので、呼吸器疾患もある程度は診れると思っていましたが、スムーズに行かないことも多く、帰宅するころには「ぐったり」です。しかしながら、医局の先生方の親切な指導もあり、充実した楽しい毎日をご過ごしています。まだまだ未熟者につき、ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、よろしくお願いたします。



●●●● 松江病院の元気宣言！ ●●●●

パワーチェア サッカーは熱い！

療育指導室 児童指導員 藤崎 敏行

皆さんはパワーチェアサッカー（国際的な競技名はパワーチェア フットボール Powerchair Football）というスポーツをご存じでしょうか。パワーチェアとは電動車いすのことであり、車いすを利用している方もサッカーをしたいとの思いから生まれたスポーツです。

現在、東5病棟の筋ジストロフィー患者さんが、このパワーチェアサッカーに熱中しております。日常使用している車いすの足受けに、ボールをコントロールする為と相手との接触から守る為のバンパーと呼ばれるものを装着し、4人对4人で試合を行います。



昨年の10月に患者さんから「車いすサッカーをやりたいんだけど出来るかな？」との声が上がりました。以前、チームに所属していた別の患者さんから話を聞いて面白そうだけど、本当に出来るかな？という不安もあるということでした。私も名前だけは知っているという程度であり、患者さんと一緒に手探りの状態からスタートしました。チームを結成した当時は経験者2名と初心者2名の4名でした。まず車いすのバンパー製作から始めました。昨年までは公式ルールも現在とは異なっており（* 2006年にアメリカのアトランタで各国によって異なっていたルールの選考が行われた結果、フランスのルールが国際ルールとして決定しました。日本では2007年度から国際ルールに移行しました。）、乗用車のスタッドレスタイヤを約半分だけ切断し、フレームを組み込んで車いすに装着するというものでした。患者さんと一緒に製作に取りかかり、完成に近づくにつれ患者さんの眼はさらに輝きを増していきました。

今回、広報誌『穴道湖』への原稿依頼を受け、患者さん達と「どうしようか？」と話し合った結論は「多くの人にパワーチェアサッカーを知ってもらいたい」という気持ちが強くなったということです。チームキャプテンをしている患者さんは、今回の原稿に次の文章も載せて欲しいと言って来ました。

『電動車いすサッカーを始めて半年が過ぎました。初めてサッカーボールに触れた時、とてもわくわくしました。サッカーボールに触れるなんて、何年ぶりだろうか。

まさか、車いすに乗っていてもサッカーが出来るとは…と思いました。始めたばかりの頃は、ルールやボールのコントロールの仕方を覚えることが大変でした。練習をしていくうちに、どんどんやる気が出てきて、頑張りたい気持ちが湧いてきました。これまでの練習には、メンバーの家族、実習生の方や職員の方に参加してもらったり、見学に来てもらったりしています。参加される方の中には、電動車いすに乗るのは初めての方もいて、車いすサッカーと一緒に出来て嬉しいです。また、見学される方や支援して下さる方々からは、ひとつ一つのプレーに応援や歓声が上がリ、より一層練習が盛り上がります。電動車いすサッカーをやっている時、チームの皆は夢中になっています。皆の真剣な顔、喜ぶ顔や悔しがると顔を間近に見ると、そう感じます。そこには皆のいつもは見せない本当の姿があり、皆が正体を表す一時です。車いすサッカーの時だけは、とにかく夢中になっている皆の姿を見るのが楽しみです。メンバーにはそれぞれに役割があります。チームをまとめる人、作戦を立てる人、そして試合になるとポジションがあり、それを果たすことによって『自信』にもつながります。今後、車いすサッカーを通して、たくさんの方との交流をしていきたいと思います。その中で、車いすサッカーの面白さを伝えたいし、他チームと試合がしたいです。最後に、車いすサッカーに興味がある方は、是非とも見学に来て下さい。』

パワーチェアサッカーは障害者を対象としたスポーツですが、支援している側の私も他職員も、電動車いすの操作方法を練習し、一緒になってボールを追いかけています。

毎週木曜日18時～19時の時間帯に当院体育館（* デイケア棟）で行っています。

最近では噂を聞いた在宅の患者さんや他の入院患者さんも参加して、メンバーは倍増の合計8名になりました。

【パワーチェアサッカーは熱い！】—これが私も含めチームや参加している皆さん方の共通の感想です。このスポーツを通して、患者さんが様々な人達と交流して、人として成長していく課程で、一つの糧になって頂きたいと熱く願っております。

夢は大きく、いつかは全国大会で優勝できる日を夢見て支援を続けていこうと思います。

※写真は、練習風景や白熱した紅白戦の様子です。



外来診療表

お気軽にご相談下さい

平成19年7月1日現在

診療科	日	月	火	水	木	金	専門領域
呼吸器科	矢野	小林	徳田	服岡	池田	【呼吸器科】 竹山 博泰 矢野 修一 池田 敏和 小林賀奈子 徳田 佳之 若林 規良	【副院長】呼吸器一般・アレルギー 【統括診療部長】呼吸器一般(肺循環・肺がん・結核他) 呼吸器一般 呼吸器一般(結核・睡眠時無呼吸症候群他) 呼吸器一般 内科一般
	若林	竹山	竹山	竹山			
	石川	徳田	池田	矢野	小林		
循環器科	石川					石川	【循環器科】 石川 成範 循環器科一般
神経内科		下山		足立			【神経内科】 足立 芳樹 下山 良二 神経内科 神経内科・リハビリテーション
外科	徳島		中井 目次			荒木	【外科】 徳島 武 目次 裕之 荒木 邦夫 中井 勲 【院長】呼吸器外科・胸腔鏡下手術(肺がん・自然気胸他) 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科 呼吸器外科・一般外科
小児科	発達 専門外来	久保田 (予約)	齋田 (予約)	齋田 (予約)	久保田 (予約)	齋田 (予約)	【小児科】 齋田 泰子 久保田智香 重度心身障害・小児神経・摂食機能障害 発達障害・重度心身障害
	予防接種		(予約)				
特 殊 外 来	肺がん 検診	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	【放射線科】 診療時間 8:30~17:15 受付時間 8:30~11:30 自動再来受付 7:30~11:00  独立行政法人国立病院機構 松江病院 呼吸器病センター 〒690-8556 松江市上乃木5丁目8番31号 電話 (0852) 21-6131(代) 医療連携室直通電話・FAX (0852) 24-7661 URL http://www.hosp.go.jp/~matsue/
	睡眠時無呼吸 外来				呼吸器科 担当医(予約)		
	息切れ外来		呼吸器科 担当医(予約)				
	喘息 アレルギー外来		竹山 (予約)	竹山 (予約)	竹山 (予約)		
	慢性咳嗽 外来		竹山 (予約)	竹山 (予約)	竹山 (予約)		
	禁煙 外来		竹山 (予約)	竹山 (予約)	竹山 (予約)		
	アスベスト 外来		竹山 小林 (予約)	竹山 徳田 (予約)	竹山 (予約)		
	嚔下障害 外来		下山 (予約)				
	神経難病 外来		下山		足立		
	筋ジストロフィー 専門外来				下山 (予約)		
その他	セカンド オピニオン 外来	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	(予約)	

特 殊 外 来	小児科発達 専門外来	診療日：毎週月～金曜日 内容と特色：ことばや運動の発達の遅れ、低身長などの発育の異常、ひきつけ、などの疾患に対する診断・治療療育相談を行っています。投薬、理学療法など通常治療のほかデイケアでの遊戯療法も行っています。
	肺がん検診	診療日：毎週月～金曜日 15:00～16:30 (要予約) 内容と特色：ヘリカルCTを使用し、小さな肺がんも発見できます。料金5,250円(税込み)
	睡眠時無呼吸 外来	診療日：毎週木曜日 14:00～16:00 (要予約) 内容と特色：いびき、睡眠時無呼吸症候群の診断治療を行います。
	息切れ外来	診療日：毎週火曜日 13:00～15:00 (要予約) 内容と特色：息切れの診断と治療を行います。
	喘息 アレルギー外来	診療日：毎週火・水・木 9:00～12:00 (要予約) (日本アレルギー学会専門医・指導医が担当) 内容と特色：成人気管支喘息・花粉症。個人個人に合わせた予防法、日常生活指導から最新の治療まで。
	慢性 咳嗽 外来	診療日：毎週火・水・木 9:00～12:00 (要予約) (咳嗽研究会会員が担当) 内容と特色：3週間以上長引く、咳(せき)や喉の異常感でお悩みの方。声楽家・アナウンサー・教師など声を重要な手段とされる方の悩み。
	禁煙 外来	診療日：毎週火・水・木 9:00～12:00 (要予約) (日本呼吸器学会専門医・指導医が担当) 内容と特色：禁煙を志す方の検査、診断と相談に応じます。
	アスベスト 外来	診療日：毎週火・水・木 8:30～11:00 (要予約) 内容と特色：石綿(アスベスト)曝露による肺障害を発見するための検査と診断を行う。
	嚔下障害 外来	診療日：嚔下障害外来 (要予約) 毎週火曜日 8:30～
	神経難病 外来	診療日：神経難病外来 毎週火・木曜日 8:30～
筋ジストロフィー 専門 外来	診療日：毎週木曜日(予約=指導室まで) 8:30～ 内容と特色：筋ジスト病棟医が診療に当たります。診断から在宅ケアのための医療や介護・福祉サービスの紹介など専門的、総合的外来です。在宅患者に必要な定期的精査短期入院(筋ジストック)も受け付けています。	
	セカンド オピニオン 外来	診療日：完全予約制(紹介状必須) 内容と特色：呼吸器・呼吸器外科・神経内科・小児科(筋ジスト)の専門医(医長)が担当致します。